



月刊 さいとう健



特別号

平成26年10月15日発行

「臨時国会に向けて」

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
 大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
 零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
 日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出向)などに携わる。
 平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
 平成21年衆議院総選挙において、比例南関東ブロックで初当選。
 平成24年衆議院総選挙において、千葉七区より二期目の当選。
 環境大臣政務官を経て、現在、党副幹事長、党農林部会長として
 農林業の国際競争力強化に奮闘中。
 [趣味] ハンドボール、カラオケ、読書、映画
 [好きな食べ物] ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)

〒270-0137 流山市市野谷665-40-103

TEL:04-7157-6223 FAX:04-7157-6224

E-mail : info@saito-ken.jp

さいとう健 国会事務所

〒100-8981

千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室

TEL:03-3508-7221 FAX:03-3508-3221

臨時国会が始まりました。この国会の始まる前に自民党の人事がありまして、小生の身の上にも異動がありましたので、まずご報告いたします。

これまで一年間、農林部会長の職にありましたが、このたび続投をすることになりました。自民党の部会長というのは、政府が国会に出す予算や法案について事前に党内の意見調整をする責任者であり、特に農林関係は意見が対立することが多く難しい仕事のひとつとされております。これまで農林部会長の続投というのはほとんど前例がなく、珍しい人事だそうです。

また、加えまして、副幹事長もおおせつかりました。この職は言うに及ばず、全国の選挙をはじめとするあらゆる党務の責任者である谷垣幹事長を補佐する仕事でありまして、小生は総括補佐という役割を担うことになりました。

部会長と副幹事長を兼任するのは極めて異例で、しかも両方ともなかなか困難な仕事ということで、正直緊張を禁じえません。さらに加えて、国会では、外務委員会理事、農水委員会理事、原子力問題調査特別委員会理事と、委員会の理事を3つも兼務することになり、どうやらハードな毎日になりそうです。

こういった仕事を頂くのも、地元で応援してくださっている皆さんのおかげだと思ひながら、人の倍働く気持ちで取り組んでいく所存です。

農政改革は、昨年一年でかつてない前進を遂げました。具体的には、この月刊の夏季特別号でご報告いたしましたが、今回はこの臨時国会開会中に大詰めを迎えるTPPについてさいとう健の考えを一言申し上げたいと思います。

TPPは、環太平洋の自由貿易を推進する上でも、環太平洋諸国の連帯を深めるという安全保障上の観点からも推進すべきものであります。しかしながら、一方で、食糧も他の物品と同じように扱って本当にいいのかという疑問があります。さいとう健は、いくらTPPが大事であっても、日本の農業の基幹部分が崩れ、いざというときに子や孫が飢えかねないという事態は何としても避けなければならないと考えています。

(裏面へ続く)



「国会見学」のご案内

さいとう健は、時間の許す限り、国会議事堂内を一緒に案内いたします。何名様でも結構です。お問い合わせは後援会事務所まで。



「ミニ集会」のご案内

さいとう健は、皆様とひざをつき合せて意見交換ができるミニ集会和、活動の原点としております。ぜひ企画してお呼びいただければ幸いです。



野田市産業祭にてジャンボかぼちゃを見物。祝！全国準優勝！

昨今の異常気象を見るにつけ、地球温暖化の進行を懸念せざるを得ません。このまま温暖化が進めば、アメリカの穀倉地帯でも高い可能性でかんばつが起こることが指摘されています。

一方、現在のアメリカの交渉姿勢は、日本なんていう国は、強硬姿勢で押ししていけば最後は音を上げるからどんどん押ししていけばいいんだと考えているようにしか見えません。そういう、最後は降りる日本というイメージを変えていこうと、さいとう健がかつて日米交渉に携わっていたときは歯を食いしばって頑張ったものです。それが、昔に戻っている。

また、アメリカ政府は、米国議会から交渉権限を委譲してもらって交渉に臨むのが常であります。これまでアメリカ政府から交渉権限をとらずに合意した自由貿易協定はヨルダンとのものただ一つです。その他

の協定は全て議会から交渉権限をもらって交渉に臨んでいます。

なぜアメリカ政府が議会から交渉権限をとるかという点、仮に、相手の外国政府が国内の反対を押し切ってアメリカ政府と合意しても、議会でひっくり返される可能性があるようでは、外国政府も怖くてカードが切れず交渉にならないからであります。

ところが、TPPについては、アメリカ政府はその交渉権限が議会から取れていません。

こういう状態で、仮に日本政府が身を切るような妥協をしても、議会との関係でひっくり返されるのは明らかで、さいとう健は、まずはアメリカ政府が交渉権限をとってきてくれと交渉すべきだと思います。

いずれにしても、TPP交渉は大詰めを迎えております。悔いの残らないような中味になるよう、農林部会としても政府に厳しく注文をつけ続けていく所存です。

農政関係では、このほか米価下落問題や、60年ぶりの農協改革など難題山積みです。これらにつきましても折に触れ、この月刊で報告をしていきたいと思ひます。

☆コラム☆

ワシントン・ボストン訪問

アメリカ・マンズフィールド財団の招きで、この9月にワシントンを訪ねてきました。TPP交渉を担当している米国通商代表部、あるいは上下両院議員、シンクタンクの研究者の皆さんと意見交換してきました。TPPに関しては、本文で述べたようなさいとう健の考えを厳しくぶつけてきました。

また、帰りがけに、ボストンにある母校・ハーバード大学を20年ぶりに訪問しました。青春の日々を思い出し、あまりの懐かしさに胸が熱くなるひとときでありました。



日米の政策課題について意見交換。



ジョン・F・ケネディ博物館前にて。

〈さいとう健の写真活動報告〉



防災訓練を視察。頻発する災害に備え、地域の連携を強化します。



アジサイの隣で皆様と。枝豆もおいしく頂きました。



江戸川で大物をゲット！ニホンナマズはリリースしました。

メルマガさいとう健

名前・住所の登録不要。

月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。

返信すれば匿名で意見を伝えられます。

<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

やっぱりこの男に!